

だんたん とぴっく



身近なまちの話題や出来事を紹介します

学生サンタとカードづくり



12月23日に安来中央交流センターで「やすぎ子ども探検隊」クリスマスパーティが開催されました。企画・運営は、島根大学の学生の皆さんが担当。イルミネーションやツリーなどが飾られ、学生たちもサンタクロースの帽子を被るなど会場内はクリスマス一色です。内容もゲームや劇、サンタクロースの登場など学生らしいアイデアで楽しく工夫されていました。

クリスマスカードづくりを教えてもらった小藤知夏さん（9歳）は「いろいろな色のセロハンを使って色使いを工夫しました。家に飾りたいです」と話してくれました。

11月から12月にかけてやすぎ懐古館一風亭を舞台に複合型ギャラリーイベント「やすぎあつめ」が開催されました。企画したのは様々なジャンルのクリエイターが参加する『山陰効果団地』。造形作家などが、安来にちなんだ作品を徐々に完成させ、一風亭館内に展示していきました。

12月2日には安来幼稚園のゆり組の皆さんが見学に訪問。「安来市をつなぐダンボールSL」と題したダンボール製の模型などに見入っていました。

クリエイター集団が アート作品を展示



▲「唄う民謡数あれど 此が一じゃよ 安来節」とオリジナルの歌詞で会場を沸かせた出雲正之助新名人。

新春に響く 名調子

3300人を超える会員をもつ安来節保存会が1月10日、安来節演芸館で恒例の唄い初め会を開催しました。この会は、50年以上続く伝統行事で、市内外から会員約200人が、約300人を前に日頃から鍛えた唄や三味線、絃の演奏、踊りなどを披露しました。

また、大師範以上に昇格した11人に近藤宏樹会長が免状を授与。唄の部で2009年以来の最高位、名人となった出雲正之助さん（益田支部）は、「名人の名に恥じぬように一層精進したい。また、後生の育成にも励みたい」と話していました。

防火への願い込め一斉放水

安来市消防出初式が1月8日に開催され、市内の消防関係者約500人が参加して防火・防災への決意を新たにしました。

十神小学校で行われた式典では、多年にわたり功績のあった団員へ表彰が行われたほか、山本純消防団長が「消防団として強い団結力を持ち、市民から頼られるよう消防技術の習得に努めていただきたい」と訓示しました。

式典後は安来港で消防車両47機材により一斉放水などが行われました。この日は、あいにくの雨でしたが、多くの市民が見学し、団員はきびきびとした行動で、防火への心意気を示しました。



▲中海への一斉放水の様子。今年から女性消防隊も放水に参加しました。

▼12月12日、編集委員の稲田郷さん（中）と前田進さん（右）が近藤市長を訪れ、完成を報告しました。



伯太の歴史を再発見「町内散歩」を製本化

旧伯太町の広報はくたに掲載された人気コーナー「町内散歩」が製本化されました。今年は母里藩が分知されて350年の節目の年で、母里交流センターが中心となり編集しました。

町内散歩は、郷土史家の故・梶谷範敏氏が昭和52年8月から伯太町が合併する平成16年9月までの間、318回連載したものです。母里藩の変遷や比婆山、サンフランシスコ講和会議の全権委員代理・伊達源一郎氏など伯太地域の文化財、歴史、自然が多岐にわたり紹介されています。

編集委員の一人、母里交流センターの稲田郷館長は、「この地を支えてきた先人たちの知恵を知り、今の生活に役立ててほしい」と話していました。※町内散歩は市内の図書館（室）、伯太町内の交流センターで見ることができます。

高所にも送水できる加圧式給水車

市では、災害時や断水時の応急給水に対応するため、給水車を導入しました。2,000リットルの給水タンクを積載し、加圧式の動力ポンプから25メートルの高さまで送水することができます。

この給水車の導入により、一度に300人分の飲料水が確保でき、緊急時や災害等による断水などには、状況に応じた迅速かつ柔軟な対応ができるようになります。市では引き続き応急給水体制を強化していきます。

また、通常時には、総合防災訓練や各種イベントに参加する予定です。

・問い合わせ
上下水道部
水道管理課
☎ 23-2020



まちを守ります。
新車両を導入。

血糖測定器を備えた新型救急車

安来市消防署では、自動心臓マッサージ器や心電図測定器、血糖測定器を備えた新型の救急自動車を導入しました。認定救急救命士が搬送中に、低血糖発作症のときにはブドウ糖溶液を投与が可能になり、さらに重度傷病者に対しては静脈路確保や輸液をすることができるようになります。

また、車両の側面には、特殊な反射材を使用しており、光がどの方向から当たっても光源にそのまま反射するように工夫されています。夜間でも他の車両などから救急自動車を認識しやすくなり、より安全に搬送できるようになりました。



・問い合わせ
市消防署 ☎ 23-3425

